

竹取物語新聞

第164号 2019年11月27日
発行：NPO 法人森林ボランティア
竹取物語の会

笹田果樹園水路整備

秋晴の清々しい11月3日（日）いつも通り竹取基地に会員が集合。本日の作業は笹田果樹園の水路整備のメンテナンスを参加会員12名で実施しました。

昨年11月～12月に3日間かけて実施した水路整備のお陰で、今年5月の草刈り時には、正面棚田の全域において湿地状況は改善されていました。しかしながら8月の草刈り時には、梅雨やイノシシの影響もあり、一部の縦水路、横水路共に土砂が流れ落ち、数ヵ所が湿地状態に逆戻り。今後もイタチゴッコが続くかと思いますが、草刈り時の安全確保、自然環境保全、果樹園管理の観点からも水路整備は重要かと。

2009年笹田氏所有地の整備に関する覚書締結以来今年で10年経過しました。先達会員のお陰さまで、果樹園保全が継続出来、高齢会員には大変労力を要しますが、他の森林ボランティア団体にない、竹取のやりがいの有る作業と思っています。梅、栗、柿等季節の旬な果実が収穫出来る楽しみもご褒美として頂いています。来年も草刈り、水路整備等保全管理時には、出来る範囲において参加頂ければ幸いです。人数さえ集まれば周辺で唯一残った棚田も保全継続出来るかと。本日参加頂いた会員の皆様有難うございました。（文 小出 哲男）



メタウォーター(株)里山活動（第9回）

11月10日（日）環境水処理の大手メーカーメタウォーター(株)の一行15名が社会貢献活動の一環として来られました。6月の竹林伐採に次いで今期2回目 合計9回目の体験参加となります。

今回は檜の人工植林地での檜の間伐作業です。まず小出代表から作業手順と安全に対する注意喚起があり、参加者の内経験者を軸に二班に分けました。小出さん、岩本さんをリーダーに会員9名が各班の指導に当たります。比較的掛かり木の少ない木を選び、倒す方向にロープを張り安全確保に努めます。交代で受け口を作り、追い口からノコギリを入れ倒れ掛かったところで一気にロープを引き倒しま



す。樹木間が狭いためどうしても掛かり木になります。そこは若者の多い団体、力任せに引き倒しました。後は定番の枝打ち、玉切檜の皮むきを行い各班それぞれ2本の間伐を行いました。最後にお土産用小さく輪切りにした檜の木っ端を手渡し本日のお礼としました。

日頃の使わない筋肉の疲労や一筋の汗が、心地よい満足感となり今後の社会貢献、ボランティア活動への一助となることを願い本日の作業を終えました。

今日の活動に安全第一にご協力頂いた会員の皆様に心よりお礼申し上げます。（文 佐古 義則）



森の幼稚園「のいちご」里山体験

（11月13日）

参加者、森の幼稚園26名、竹取物語の会指導員9名。森の幼稚園は親子 共育の場をめざした園舎をもたない屋外で自然体験を中心とした幼稚園です。

10時 基地広場に全員集合し準備体操を行う。竹取り小出代表の挨拶「今日の目標は竹材が上手く切れるように」とノコギリ使用の説明。幼児・保護者が3班に分かれ基地内の竹林に向かい各班1本伐採。伐採は選んでいた小さな竹を会員がノコギリ指導し、園児が交代で伐り伐採を行った。枝切り、玉切りした竹材を親子で基地迄運ぶ。基地広場で園児

たちが輪切り体験を始める。初めはノコギリの刃が滑りなかなか切れないでいました。

午後は保護者も会員の指導で箸作りを楽しみました。器作りは親子で、コップ・花器等のサンプルを選び、作品作りは会員の手助けを借り完成しました。幼児から「竹のくさりは出来ないか」と竹細工で初作品の要望があり、会員が5連のくさり作りを教えました。幼児の発想力に驚かされました。

13時半、最後に安原代表と園児の「有り難う御座いました」で無事終了。皆さんお疲れさまでした。

（文 浅尾 真一）



里山保全体験活動

(ボーイスカウト枚方第八団)

11月17日(日)晴天の中、ボーイスカウト枚方第八団の総勢25名の皆さん(ビーバー隊含む16名とリーダー9名)が野外活動センターフィールド内で里山体験活動をされました。

この団体は、昨年までの7年間、「生駒山系花屏風事業」に参加され、野外活動センター管理地エリアにて、桜苗木の植樹活動を続けて来られましたが、今年は植樹適地が無く、初めて里山保全体験活動をする事となりました。小さい子供達でヒノキ人工林の間伐作業が出来るかと当初は心配でしたが、リーダー達の要望も有り実施する事としました。

子供たちは二班に分かれてヒノキ人工林に入り、間伐手順の説明を受け、安全を確保しながら、会員がロープ掛けの後、順番に受け口にノコギリを入れていき、いよいよ追い口にノコギリを入れ、終わるとロープ引きに移って行く。子供の手ではなかなかノコギリが進みませんが、今か今かと待ち構えてロープを持つ手に緊張が伝わる。やがて、「引っ張

って!!」の掛け声と共に、「そーれ!そーれ!」と引っ張り、ドサ!!と倒れる音に「ウォ!!」と歓声が上る。会員の指導の下、ノコギリで枝落としを行い、玉切りした幹の皮むきを行った。この時期の皮むきはなかなか剥けませんが、集中して取り組むのをリーダーが感心していました。皮むき後は、会員が3センチ幅位に玉切りし、香りのよいヒノキの木端をそれぞれ嬉しそうにお土産に持ち帰りました。

午後は竹の器作り、コップ、花器等、ノコギリを持って自分の作りたい物を指導を受けながら作りました。中でも、竹トンボを作りたいとの要望があり、ベテランの会員の指導を受けながら青竹から竹トンボを作り上げた子供もいました。最後は自分で作った作品を持って記念写真です。良い経験になったと言って頂けて、指導会員も嬉しそうでした。

(文 山脇 次郎)



NPO 法人 竹取物語の会 R. 元年 12 月 活動予定表

	活動予定	特別な活動など	担当・段取りなど
. 01 (日)	活動日	第 4 回竹とあそぼ簡易竹炭焼き 及び門松作り体験	小出・山脇・岩本
. 02 (月)			
. 03 (火)			
. 04 (水)	活動日	クラフトデー 水質検査班活動 1 日目	岩本・小出 吉田・吉野
. 05 (木)		水質検査班活動 2 日目 竹取物語の会忘年会 17:30 かごの屋	吉田・吉野
. 06 (金)			
. 07 (土)			
. 08 (日)	活動日	第 16 回財産区竹林整備	小出
. 09 (月)			
. 10 (火)			
. 11 (水)	活動日		
. 12 (木)			
. 13 (金)			
. 14 (土)			
. 15 (日)	活動日	作業道具点検整備 理事会	担当会員
. 16 (月)			
. 17 (火)			
. 18 (水)	活動日	基地の門松作り準備	岩本他
. 19 (木)			
. 20 (金)			
. 21 (土)			
. 22 (日)	活動日	基地の門松飾りつけ作業 活動最終日	岩本他
. 23 (月)			
. 24 (火)			
. 25 (水)			
. 26 (木)			
. 27 (金)			
. 28 (土)			
. 29 (日)			
. 30 (月)			
. 31 (火)			

※ 2020 年 1 月 年始作業は、1 月 12 日 (日) 9:30 三之宮神社駐車場に集合

安全祈禱及び基地でのぜんざい振舞い